

「紅組・白組」児童の熱戦!!

町内3小学校で運動会

みんながんばったネ!!



学校の大きなイベントのひとつである運動会が、五月晴れのもと町内3つの小学校で行われました。児童は、日頃の練習の成果を十分に発揮し、紅組・白組の熱戦を繰り広げました。訪れた保護者や地域の皆さんは、大きな声援で児童を応援していました。

各小学校の運動会の様子を写真で紹介します。

只見小学校



▲5月21日 只見小学校運動会 種目:紅白応援合戦と綱引きの様子

朝日小学校



▲5月14日 朝日小学校運動会 種目:かけっこドーナツ争奪戦の様子

明和小学校



▲5月14日 明和小学校運動会 種目:大玉ころがし、鼓笛パレード、リレーの様子

田植えイベント KARIYASU'16 「100人手植え」開催!!

5月21日、季の郷湯ら里前の田んぼで今年で第2回目となる田植えイベント「100人手植え」が開催されました。町内外の大人から子どもまで約100人が参加し、苗の手植え体験や田植え機の同伴指導などが行われました。

主催者の(有)さんべ農園の三瓶清志さんは「ゆるく長くをモットーに只見を愛する人を増やしたい」、(株)ライズサプールの目黒大輔さんは「2年目のこのイベント、町外の人に只見の魅力を伝え、町内の人には只見の良さを再発見してもらいたい」と話されました。会場は楽しい雰囲気にもまれており、普段農業をしない方や子ども達も、農業の楽しさを感じていました。

今回のイベントは、熊本・大分地震のチャリティも実施しており、主催者のさんべ農園の「コシヒカリ3合」と、ライズサプールの「特製凍み餅2個」をセットにして、会場内で500円で販売し、売上の全額を農業者大学校同窓会熊本県人会に寄付されます。

秋には稲刈りイベントも企画されていますので、是非多くの方に参加して頂きたいと思います。



▲参加者全員で集合写真!



▲手植えにチャレンジ



▲主催者の三瓶清志さん(左)と、目黒大輔さん(右)



▲只見の自然の魅力や楽しみ方が満載です

只見町の自然の素晴らしさを紹介 「只見の自然を楽しむ写真展」開催!!

只見の自然に学ぶ会の写真展が、6月下旬まで入叶津のそば店「八十里庵」で開催され、随時町内の施設や学校を巡回展示する予定です。ブナ林などユネスコエコパークに認定された自然の魅力をパネルで紹介しており、「水辺からはじまる春」「ブナ林の四季」「雪が削った山」などテーマごとに分かれ、只見町の自然の特徴を知ることができます。入場は無料となっていますので、是非ご覧ください。



かいと
渡部 快人くん
(小川)

けいご
五十嵐 慶伍くん
(小林)

なると
三瓶 成翔くん
(只見)

虫歯の
ないの
子



(5月31日
3歳児健診)

只見4名山の山開き初陣！ 「要害山」山開き開催

晴天に恵まれた5月8日、要害山の山開きが開催され、町内外から約180名が参加しました。

開山式で目黒町長は、「今年は雪が少なかった為、残雪を見ることはできないが、ブナの新緑を楽しんで欲しい」と挨拶し、参加者と一緒に登山しました。

要害山は生息する草花の種類が多く、今年はタムシバやヤマツツジなど見られました。

また、この日は会津朝日岳や浅草岳も望むことができ、参加者は山頂からの絶景やブナの新緑を楽しんでいました。下山後には駅前で甘酒が振る舞われ、登山者は舌鼓を打ちながら山開きを楽しんでいました。



▲参加者と一緒に登山する目黒町長

只見剣道スポーツ少年団 防犯功労団体として表彰



▲表彰された只見剣道スポーツ少年団の皆さん

5月9日、南会津警察署で開催された南会津防犯協会連合会定期総会において、防犯功労団体として只見剣道スポーツ少年団が表彰を受けました。

これは、長年にわたり剣道を通した青少年健全育成を図ることで地域安全活動を推進し、昨年は「河井継之助杯只見剣道大会」を初開催するなど、広域にわたる活動が評価されたものです。現在町内21名の小学生が礼儀正しくも熱のこもった稽古に励んでおり、さらなる活躍が期待されます。

さらに、防犯功労者として五十嵐修さん、優良防犯連絡責任者として目黒啓次さんが受賞されました。

ふるさと交流都市「柏市」 新規オープン複合施設 「daichi(大地)」で只見町をPR

5月21日に、ふるさと交流都市である千葉県柏市で新たにオープンしたアンテナショップ「daichi」で、只見町の特産品のPRを実施しました。

アンテナショップ「daichi」は、JAちば東葛が経営する店舗です。ふるさと交流都市であることをきっかけに、只見町の特産品を取扱うことになり、只見町のPRも含め販売しました。

連日多くのお客様で賑わっており、只見町の特産品も人気がありました。今後も継続して販売しながら、柏市民の皆さんに只見町のPRを実施します。



▲柏市民の皆さんに、只見町の特産品をPR

新緑の只見湖岸を満喫！ 只見地区「第27回 町民ハイキング」開催

5月29日、只見地区で町民ハイキングが行われ、115名の方が参加しました。

青少年旅行村をスタートし、参加者は2.8kmと4.7kmのコースに分かれそれぞれ只見の新緑を感じながらハイキングを楽しみました。

ゴール後には、用意されたとん汁を食べたり、恒例のお楽しみ抽選会も行われたりと参加者は楽しい一日を過ごしました。



▲晴天の中、参加者全員で記念撮影

只見町ブナセンター 春の自然観察会

今年もゴールデンウィークに2つの自然観察会を行いました。今年は雪が全く残っておらず例年とはまた違った観察会になりました。



4月30日(土) 「春の花観察会」

黒谷川流域で行った春の花観察会には、町内外から32名の方々が参加されました。

今年は、この観察会の目玉、フクジュソウのお花畑は見られませんでした。例年とは違う春の風景を見ることができました。入口近くには、カタクリとキクザキイチゲの花がわずかに残っていました。変わり果てた姿は、春植物がいかに雪の消長に左右されるかを物語っていました。雪解け後の一時期だけ姿を見せてあっという間に消えてしまう春植物のあり様を、逆にはっきりと見ることができました。林道脇の崖や斜面では、エイザンスミレやミヤマキケマン、ヒトリシズカ、キバナイカリソウ、カキドオシ、サギゴケソウなど多くの花を見つけることが出来ました。ひときわ盛り上がったのはラショウモンカズラです。羅生門で切り落とされた鬼女の腕に見立てて名がつけられと言われています。あいにくのお天気でしたが、じっくりと花を眺めたり、写真を撮ったり、楽しい時間となりました。



▲黒谷川流域での春植物の観察

5月1日(日) 「春のブナ林観察会」



▲シンボルツリーであったブナの巨木

当日は早朝から雨が降っていましたが、47名の方に参加いただきました。今回は参加者が多かったため、只見町公認ガイドのお二人にガイドボランティアとして参加いただきました。観察会は10人ほどのグループに分かれて、癒しの森を解説しながら歩きました。ブナ林に入ると去年落ちた種子から芽が出ていました。普通の葉とは違う子葉の形に参加者の方も驚いていました。癒しのブナの森の「国界のブナ」は3年前に寿命をまっとうして枯死し、倒れて上を見上げると大きな穴(ギャップ)が見えます。ここでは全員にこのギャップができて明るくなり、どういった植物が成長していくか(ギャップ更新)について説明しました。他にも、ブナ二次林の青春広場、大きなヤマナシの木などを観察しました。外出を思い悩んでしまう雨の日ですが、そういった日だからこそ見られるものもあり楽しい観察会になりました。